



普段は授業を「受ける側」である3人の学生。今回、新入生に「伝える」にあたって、どんな感想をもったのでしょうか。

——新入生に伝える際に一番気を付けたことは、専門用語を使わないことです。例えば、「SA」と言ってもピンとこないのので、「語学留学」と言い直し、その他には話すスピードにも気を遣いました。



今回の経験を通して、授業を受ける時に何かみなさん自身も変わりますか？

——先生が、授業の中でどこに重点をおいて話しているのか、気になって話を聞くようになると思います。自分が、ガイダンスでポイントを伝えるために色々工夫したからこそ、人の話の本質を聞くヒントが分かったような気がします。

昨今、教育業界でよく登場する用語、「アクティブラーニング」。学生による主体的・能動的な学びの効果が注目を集めています。正課授業について論じられることが多いのですが、今回のガイダンスは、新入生を正課授業の軌道にのせるために、在校生が正課外での活動として取り組んだ効果的な一例であったと思います。

経営学部ではこの他にも、カリキュラム改革の検討、教員相互の授業参観、FD懇談会の開催などを通じて、積極的にFD活動に取り組んでいます。今回は概要のみですが、詳細については、またの機会にご紹介したいと思います。

### 【カリキュラム改革の議論】

現状のカリキュラムの問題点について、ここ2年間にわたって検討を続けてきました。教員間で、教育理念や現状の問題点を共有し、近い将来に向けたカリキュラム改革のために、相当な時間を費やして検討をしています。

### 【教員相互の授業参観】

毎年春学期に、教員相互に授業参観できる期間を2週間ほど設定し、他の教員がどのような授業をしているのか参考にしてもらいます。ただ参加するだけでなく、印象に残った点や自分が取り入れてみたい点などをレポートにし、執行部に提出しています。

### 【FD懇談会の開催】

授業改善アンケートの結果を学部長が確認し、評価の高い先生に依頼して、FD懇談会の場で、どのような授業を行っているかについて報告をしていただいています。



## 2 期末アンケート実施について（ご案内）

IV期制の学部・研究科では間もなく開始される期末アンケート。よくある質問についてお答えいたします（IV期制の学部・研究科以外は、2014年7月2日（水）から7月25日（金）までアンケート実施本部を開設のうえ、実施します）。

・出席学生が全員記入しているのでしょうか。結果を見ると、出席者数よりも少ないような気がします。

→基本的に、記入は学生の任意であるため、出席していた学生が全員記入しているとは限りません。



・アンケート封筒を実施本部から受け取ったものの、授業の進行の都合でアンケート実施時間がとれず、来週に持ち越しとなってしまいました。

封筒は持ち帰っても良いですか？

→アンケート封筒は、実施しなくてもアンケート封筒を配付された場所へ当日中に返却ください。実施本部で、返却のチェックを行ってしますので、戻ってこない場合は、確認のご連絡をさせていただく場合があります。

次週以降に実施する場合も、一度実施本部でお預かりします。